

あすの調布

年会議所並びに同シニアクラブ合同 1月例会 40th Anniversary

新春地域懇談会

JCI
CHOFU

3月号

二〇一〇年度(社)調布青年会議所
スローガン
感謝と共に
な一歩
と個々の(勇気)
変化の



2010年度1月例会 新春地域懇談会 鏡割り

例会報告II

1月例会 新春地域懇談会



2010年シニアクラブ合同 新春地域懇談会に多くの方々に来場頂き、ありがとうございます。本年度の賀詞懇談会は今年卒業する現役会員の集まりソラスト委員会が担当しました。

卒業生が賀詞を担当する事自体が組織的に新しい試みで、その中で生演奏や昨年の事業を引き継ぎ調布の名産品の紹介など行動的な新しい試みを行い、単年度制の青年会議所は常に新

しい試みに挑戦して失敗や至らぬ点を愚直に明記して、そして次の世代が何を引継ぎ新たな一歩を踏み出すかの議論を残す事で光の輪を広げて行くのだと感じました。又、ハイチ地震に関する募金も3万6千4百3十三円いただき、この場を借りて御礼申し上げます。

ソラスト委員会 委員長 中嶋 保明



2月例会 第41回通常総会

2月例会 第41回通常総会



去る2月23日(火) 国領 市民プラザあくろす3階あくろすホールにて第41回通常総会を開催いたしました。お忙しい中、原島敬之シニアクラブ会長をはじめ荒井一如事務局長、また多くの現役メンバーにご参加頂きありがとうございます。2009年度の事業報告並びに決算報告が承認され、本当の意味での2010年度がスタートされました。議事終了後に40周年特別委員会から、40周年記念式典並びにわんぱく相撲東京都大会についてのPRが行われ、皆で結束して事業を行うことへの想いを語っていただきました。

最後に本総会の運営・進行に携わってくれた、長谷川議長、総務ネットワーク委員会のメンバー、そしてご参加いただいた全体的の方々に感謝申し上げます。

総務ネットワーク委員会 委員長 小山晃一郎



40周年事業に向けて



自分達がいる(社)調布青年会議所は、多くの人々が積み上げてきた時間の上に存在していると…意識したことはありませんか？

正直、私は、今回の役職を受けるまで、あまり深く考えたことがありませんでした。多くの人達に支えられているのは実感していたとしても…目に見えていない、先輩方の積み重ねの上に存在していることを意識することは少なかつたと思います。

しかし、事実として…1970年に私たちと同じ世代の青年達によって調布青年会議所がつけられ、40年目を迎える今日まで、脈々と積み重ねてきた先輩方の掛替えのない時間と想いの上に私たちは存在しているのです。ですから、本年度の創立40周年の節目は、私たちだけの節目ではないと感じています。私たち現役は、その年を迎える責任を担っているのではないかと思います。

創立40周年の節目を迎える、私たちの責任は？

それは、積み重ねてきた想いと時間に対して心からの敬意を払いながら、一人ひとりが輝きを放ち、本年度の新たな積み重ねを未来へとつなげていくことだと思っています。

私たちは、20歳から40歳の最も力が満ち溢れている世代です。歴史に名を残すかつての志士達の年齢がそうであったように、英知と勇気と情熱さえ持ち合わせていれば、私たちを取り巻く社会にさえ、前向きな変化を起こすことが出来る世代なのです。

私は、40周年記念式典・記念事業を通じ、(社)調布青年会議所の2010年度を構成する仲間とともに手と手を取り合い、私たちの可能性を信じ、人生の中でも数少ない貴重な経験に互いに磨き合いながら挑みたいと願い、実行委員長としての責任を果たしたいと思っています。



40周年実行委員会 実行委員長 三ツ木秀章

出向者報告 東京ブロック協議会 アカデミー研修委員会



2月6日(土) 昭島市にあるフォレスト・イン昭和館で行われました。社団法人 日本青年会議所 関東地区東京ブロック協議会 「徳」と「義」・会員研鑽グループ アカデミー研修委員会 (ハートに火をつけて♥徳と義の精神) の第1回全体委員会、「開校式」に調布より多数の出向者と共に参加してまいりました。会はいつものJC次第に乗っ取って執り行われ、東京ブロック協議会 川島敏徳会長の映像によるご挨拶、開催地である昭島青年会議所 稲葉洋道理事長、アカデミー研修委

員会飯田文子委員長と順々に挨拶をされ、来賓・来訪のご紹介、続けて塾長の新井克尚君（団長塾）・馬場一記君（ばばち塾）・藤田宗篤君（うなぎさん塾）・山本征博君（ヤンピー塾）の自己紹介挨拶と続き、委嘱状の伝達と会が進みました。写真でもおわかりの通り、私は車で現地入りしたのですが、下車するときに黒短靴を忘れたのに気付き、茶色のスポーツシューズで臨みました すみません（汗）そしてどういふ訳か委嘱状を私が代表受理し席について、緊張!?!の所属塾の発表です。登録時に登録順に色分けをされていて、各塾長が箱の中の色分け紙を取るという方式で所属塾は決まりました。緊張の一瞬も終わりは第1部閉会となり第2部の名詞交換会となり、新所属塾で席を囲み自己紹介や懇親をし、新しい仲間達と名詞を交換してまいりました。これから始まるアカデミー研修委員会に不安と期待でいっぱいです。



総務ネットワーク委員会 会計幹事 榎本陽介

社団法人日本青年会議所 輝く地域創造委員会

「自分の限界は限界ではない」

「明日の自分は今日の自分を超えるためにある」そんな思いからスタートしました。

2010年度日本J.C委員長の職を頂きまして、予定者の段階も含めると6ヶ月が過ぎようとしています。LOM皆さんからの支援と先輩の方々の温かい激励を頂いて、そんな優しさに包

まれて数々の試練、場面を乗り越えられております。こんな場面、機会を与えてくれた全ての方々本当に感謝をしております。私自身日本J.Cの本会に出向させて頂き様々なことを感じ、学んでおります。例えば、日本の理事会、国内、海外の諸会議から始まり、場面だけではなく、様々な出会いと気付き、人に魅かれ、色々な視点、視野、価値を頂いております。度々自身自身を見つめ直したり、考えさせられることも多く、自分の人生の転換期の真価が問われている1年なんだなあとつくづく思い知らされます。

私が今一番感じていることは、やった人間しか分からないことがあり、やらないと分からないことばかりの世の中で、限られた青年期にどれだけ自らが環境を創り、勇気を出して行動し、どんなことでも成功や失敗を数多く経験出来るかということだと思います。つくづくひとは試練や逆境、厳しさや環境の変化からでないと本当の成長は出来ないのではないかと感じています。どうせ生き抜く人生ならば、青年世代として人生の振り子は思いつき振り振っていききたいと思えますし、必ず自分に帰ってくる振り子という力を信じて、自分たちは行動したいと考えます。

そのためにはしっかりと一人ひとりが勉強をして、徳を積んで、経験を積んでJ.Cという学校を価値あるものしたいと考えます。LOMも一丸となって渡辺理事長のもと、40周年に向けて邁進していききたいと思えます。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

輝く地域創造委員会 委員長 新國 政和



社団法人日本青年会議所 フードサービス部会

昨年の京都会議フードサービス部会京都例会懇親会席にて突然「来年は後藤だあ!」という秋田県の歴代部会長より大きな声で指名があり、当時現役会員10名弱と非常に厳しい状況でしたが、このままではマズイ・・・とにたく現役会員を会員拡大して、また眠っている現役会員へ連絡し、直接OBの先輩方には言えない、部会の良いところ、悪いところを話し合い、私の立場等はどうなっても構わない! 決して問題は先送りせず、現役会員にとつてより良いフードサービス部会の新しいカタチをつくりたいので協力してほしいという志で多数の会員より賛同いただき、2010年度部会がスタートできました。

私の目標は、部会を運営するにあたっての財源確保、年会費徴収100%を目指し、4年ぶりに顔写真入りの会員手帳を作成しホームページを立ち上げ情報の共有化、そして現役会員「100名」の会員拡大に挑戦いたします。お蔭様で本年度の京都例会はミシュランの☆を獲得された伏見・魚三樓さんにて開催し、登録料も高額の3万円にも関わらず、昨年度より20名多く60名ものご参加をいただき、こんなご時勢に感謝の一言です。尚、4月例会は4月18日（日）石川県金沢の老舗料亭、創業350年「浅田屋旅館」にて開催いたします。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

第33代 部会長 後藤文誉



日本青年会議所 フードサービス部会

検索

佐藤家の食卓



■佐藤家の食卓 「247納豆を求めて…」

2月某日、「旬鮮酒場 華肴（国領駅近く）」に脂の乗った SAMURAI 2人が集合した。1人は人として良い意味で脂の乗った榎本君、もう1人は物理的に脂の乗ったワタクシ。噂の247納豆というモノを取材するのが目的である。我々を派遣した小山委員長に「とにかく、納豆持参で行ってこい！取材を失敗したらJCIクリードを熱海の“離れの宿”で大声で唱和させるぞ！」と言われたことが脳裏をかすめ、必死の形相で

「247納豆くださいな」と注文した。メニューに無く、更に納豆を持ち込んでくるにもかかわらず、佐藤君（華肴オーナー）は我々の要望を暖かく受け入れてくれた。

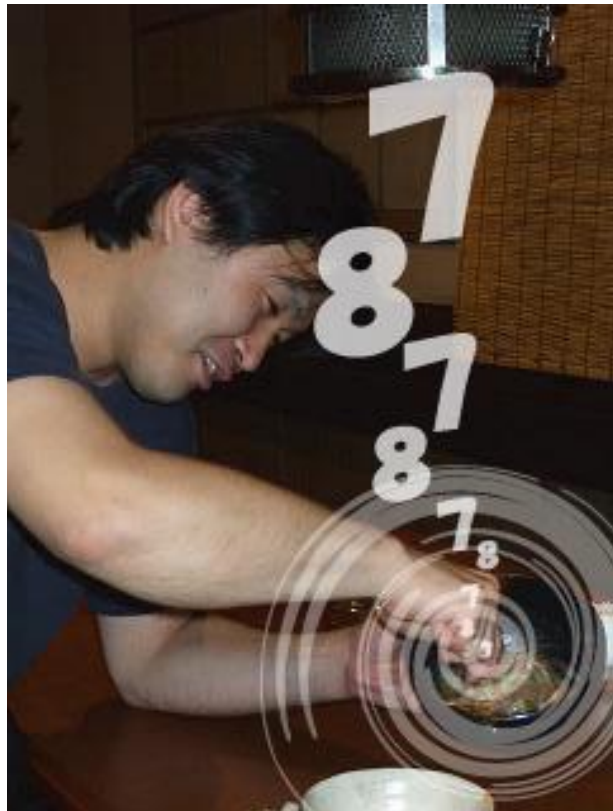


- まず、用意するもの。
- 【納豆4パック】【ネギ（小口切り）】
 - 【こぶし（鯉節を砕いたもの）なければ市販の鯉節パック】
 - 【卵黄身（小玉2コ分）・卵白身（小玉1コ分）】【醤油】
 - 【お好みでカラシ】
- そして、作り方。

- ① 大きい井に【納豆4パック】を入れて軽く潰す。
- ② 「右に7回」「左に8回」を1セットとし14セット210回掻き混ぜる。
- ③ 【ネギ】【こぶし】【卵の黄身】【卵の白身】【カラシ】を加えて更に2セット30回掻き混ぜる。
- ④ 【醤油】を加えて7回掻き混ぜる、210回+30回+7回で

合計247回掻き混ぜた納豆、247納豆。

ポイントは割り箸3本で掻き混ぜること。



昔むかし、佐藤君が板前になって1年位経った時、当時の親方に「お前の納豆は不味いんじゃないやあ」と言われ、食い下がる佐藤さんに親方が教えてくれた秘伝の納豆、それが247納豆なのである。



神聖なる納豆ができあがり、炊きたて白飯とこんにちは。箸

でグワシと掴み取り、口いっぱい頬張ると、

「美味しい!!」素材の味が生きている！「納豆」を国語辞典で引くと、「納」はうるおった形状を指す」とのこと。その通る素材が潤っています！皆様もお試しあれ。



途中から、良い意味でも物理的にも脂の乗った新川君が駆けつけてくれて、JC事業で困難な局面に遭遇しても、納豆のように粘り強く乗り越えていこう！とJC談義に花を咲かせました。

総務ネットワーク委員会 堀内信宏



今回の食卓



旬鮮酒場 華肴(かこう)
京王線 国領駅南口 徒歩1分
調布市国領町 4-8-7 エステートオギモトビル 2階
電話 042-488-5443

次は、あなたの食卓を総務委員会が訪問するかも知れませんよ。

俺の自慢

本年度は、メンバーの皆様が「委員会組織を超えたメンバー間のネットワーク」を構築できることを願い、積極的に個人的な趣味や趣向についても掲載していきたいと思えます。「この人ってこんなことしてたんか」と感じたら気軽に話をしてみてください。

俺の自慢① 中島 茂雄

とある冬の休日。

群馬県水上市のスキー場に一人でスノーボードにいきました。

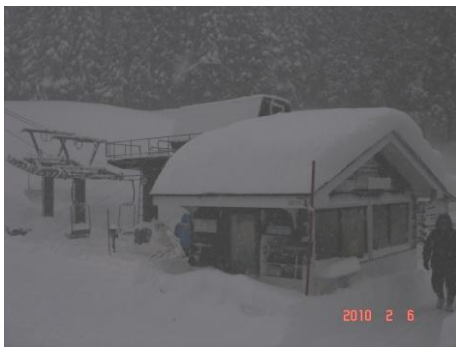
土曜日の仕事を終え、家を夕方6時に出発。ノルン水上スキー場に夜9時に到着、日本海側の寒波により山は大雪。



リフト営業時間の24時まで3時間、深雪を楽しみました。雪は止みそうも無く、明日も期待できそうです。日曜日は、ノルン水上スキー場から20分くらいの処にあるホワイトバレースキー場に行きました。



この積雪やばいです。



朝8時リフト営業開始の30分前にリフト前で待機。こんな大雪な日は、朝一番をねらいます。写真はみなさんリフト営業待ちです。



連日の雪のためリフト除雪が間に合わなく9時に動きませんでした。1時間半待ちましたが、ぜんぜん問題ないです。

リフト先頭から撮影、下の方で並んでいます。期待以上に雪が深く最高に楽しめました。このスキー場は、穴場です雪が降ったら行ってみてください。最後に関越自動車道上りにしかない、上里サービスエリアの食堂でカレーと牛丼のあいかけがあります。

みんなの食卓でありたい。



にもありますが

上里のが旨いです。



この件についてのお問い合わせは

総務ネットワーク委員会 中島 茂雄まで。

電話 090 (4543) 6722

一緒に、スノーボーいきましょう！



俺の自慢② 村澤 健太



Enjoy car life By KENTA MURASAWA

僕の愛車であり、唯一の趣味であるローバー ミニクーパーを紹介したいと思います。

僕がミニクーパーを知ったのは確か幼稚園の頃です。きつと、そのころから身体の小さかった僕にはスーパーカーにみえたのでしょうか。
車はミニ以外考えられないと思って育ってききましたが僕が目指すミニにはなかなか出合えませんでした・・・。
その間色んな車に浮気していましたが一昨年の夏の赤ミニくんに出会ったのでした。今では通勤や峠やサーキットで大活躍しております。



エビスサーキット(福島県)



昔ならではのキャブの音...
(昔の人間ではないがww) ヨダレもんですww
ではここで赤ミニくんの紹介をしたいと思います。



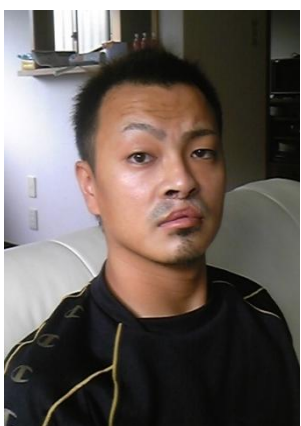
- ・ 4MT
- ・ ALLペイント(MINIIEオリジナルレッド)
- ・ 内装張替え
- ・ オリジナルダッシュユカウル
- ・ 10インチ(ワタナベ&ダンロップ)
- ・ SUツインキャブレター
- ・ LCB&オリジナルステンマフラー(カールタイプ)
- ・ その他・・・山盛り

分かりやすく言うとフルレストアです!!

この件についてのお問い合わせは

総務ネットワーク委員会 村澤 健太

電話090(1252)0512



ソネット偵察隊

2月3日、節分の日

調布国領神社にて名のJCメンバーが集まり、厄払いをしました。

国領神社の宮司はJCの先輩、野澤靖明さん。

野澤さんより、一人一人に御幣(ごへい)と呼ばれる祓具(はらえぐ)でお祓いし、神様に祝詞(のり)を申し上げました。御祈禱後、厄除御神札を一人一人に渡して儀式は終了しました。最後にお神酒を参加者全員で呑みました。皆さん、日本酒だと思ってイッキしましたが、野澤さんのイタズラにより、中身は渡辺理事長から頂いたという泡盛でした。やっぱりタダでは終わらないのがJCだなと思いました。今年一年間、災厄なく健やかに過ごせるといいですね。



今回の偵察隊員

総務ネットワーク委員会

住 友宏

◇ミスターチーフのプチ講座◇

「知って役立つプチ知識「投資編」」

「3月・11月はチャンスが多い!?!」

皆さん不思議に思いませんか? 「そう簡単に上場企業の年間通期業績が、コロナと変動する訳がないのに、なぜか3月と11月前後に株価が安値(突っこみ局面)を形成している事が多い」ことについてです。例えば日経平均の過去3年間を例にとると以下のようになります。どうでしょうか? あくまでここ最近の傾向に過ぎませんし、もちろん今後もしも繰り返されるとは言えませんが、3月・11月は要注目です。

ただ、投資は買い時よりも売り時の方が難しいと言われています。売り時は本当に難しいのですが、アメリカの格言に”Sell in May (5月に売れ)”という格言があります。なかなか当たらない場合もありますけれどもプチ知識としてどうぞ。

あくまで投資は自己責任です。話題のタネとしてご笑読下さい。【過去3年間の大きな安値(突っこみ局面) 形成時期】

- 2009年・・・3月10日(7540円で2009年最安値日)と11月27日(9081円で後半の最安値日)
- 2008年・・・3月17日(11878円で前半の最安値日)と10月27日(7162円で2008年最安値日)
- 2007年・・・3月5日(16642円で前半最大の突っこみ形成時の安値日)と8月c日(15273円で後半最大の突っこみ形成時の安値日)と11月21日(14837円で2007年最安値日)

(文)ミスターチーフ



例会インフォメーション

3月例会

あと一步の自分へ(Practice creed for myself)

日時:平成22年3月30日(火)

登録:18時30分 開会:19時00分

場所:調布市文化会館たづくり8階 映像シアター

本例会では、第一に客観的データに基づいた自己分析テストにより、メンバーが『自分とは』を見つめなおすことで、本当の自分を知る機会をつくります。第二に自己の特性、個性に気づいた上で今後自分が望む未来を描いていただき、最後にそのために今何が自分に必要かを考えて、行動規範をつくることろまでが当日の内容となります。作り出したツールはこれから自分が改善や変化するための明確な基準となり、やがて自分で設けたルールや行動規範に従うことで、今までやったことのないことに取り組んだり、やるべきかやらざるべきかなど頭で考える時間が減ること、スケージュールに余裕が生まれ、家庭や仕事はもちろん、JCや諸団体、地域との関わり方において、より、自分が思い描いたライフスタイルに近づくことができるような人間を目指すことを目的とし開催します。

ただ、机上の空論が無意味であり、多くの場合、セミナーを受けた翌日には元に戻ることも、共通の特徴だと思えます。人間力向上委員会としては、その後も継続して全身全霊フォロを致しますので、是非皆様の参加を心より願っております。

皆様のご出席を心よりお待ちしております。

人間力向上委員会一同

編集後記

調布青年会議所メンバー及びシニアクラブの諸先輩方、最後まであすの調布をお読みいただきありがとうございます。

今年は調布青年会議所設立40周年です。

この記念すべき年を、こども晴れやかに迎えられたのは、諸先輩方の並々ならぬ情熱のお陰であります。そして新しい歴史を作っていくのは我々メンバーです(諸先輩方のお力添えを何卒宜しくお願い申し上げます)。

私共、総務ネットワーク委員会では、あすの調布を1(既刊)・3・6・9・12月に発行致します。本年が特別な年であることを自覚し、「組織を越えたネットワークの構築」をテーマに紙面を作っていました。一年間宜しくお願致します。最後にになりましたが、1月号・3月号紙面を作成するに当たり、お忙しい中取材に応じ、寄稿してくださった皆様、そして1月号におきまして担当委員会でないにも関わらず、筆舌に尽くしがたい程ご助力頂きましたソラスト委員会加藤副委員長殿に感謝を申し上げます。

総務ネットワーク委員会 堀内信宏

あすの調布 2010年度 3月号

発行 社団法人調布青年会議所 〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-5-9 電話・ファックス042(485)9630

編集総務ネットワーク委員会

委員長 小山晃一郎・副委員長 和田勝幸・運営幹事 堀内信宏・会計幹事 榎本陽介
委員 栗原廣貴・齋藤喜兆・佐藤美和・佐藤優・住友宏・中島茂雄・村澤健太